

# 「三和オリーブクラブ」 喫茶つみきの都竹さんを 中心に、三和町を元気に するため活動しています。

オリーブの苗木を植える参加者ら 美濃加茂市三和町



## 雑木林整備、オリーブ畑作り

美濃加茂市三和町の住民らでつくるグループが町内の雑木林を整備し、オリーブ畑作りに取り組んでいる。苗木18本を植樹し、順調に育っては3〜4年後に収穫できる予定で、20〜40代を中心とする若いメンバーたちは「三和町を面白くしたい」という思いも育んでいる。

グループは「三和オリーブクラブ」（都竹祐樹代表）。同町で喫茶店を営む都竹代表35が肉や魚の料理で使うオリーブオイルを「自分で作れたら最高」と思い立ち、昨年春から常連客らと3人でオリーブについて調べ始めた。かつて宅地だった高台にある草木が生い茂った雑木林を借り、昨年8月に整備を開始。毎月集まり、チェーンソーや重機も使ってこつこつ作業を進めた。「ここは地中海沿岸とは真逆の条件だからそやうしたい」と都竹代表は強調する。

プロジェクトへの共感が広がり、メンバーは町在住者14人となった。「来られる人が集まり一緒に取り組む過程が大変」と、作業後には「バーベキューをしたり、どんなことができるかを語り合った」と話している。昨秋にはヤギ2頭の飼育を始め、交代で餌やりを実施。今後、ヤギによる除草も考えている。植樹には親子連れら約20人が参加。初期メンバーの兼業農家酒向正人さん(61)は「若い人たちの熱い思いに共感した」と話し、約7カ月かけて開墾し迎えた植樹に笑顔を見せた。

グループでは「三和オリーブ」としての普及など活用の可能性を膨らませている。都竹代表は「町全体を巻き込んだ活動となり、次の世代につなげられたい」と語る。(山田孝二)

